

持続可能な社会の創り手を育てる FTCチェンジメーカー教育プログラムニュース

発行：2022年5月27日 第3号

FTCチェンジメーカー教育プログラムは、子ども・若者一人ひとりが社会問題を自分ゴトとして捉え、問題解決に向けたアクションを起こし、社会参画を通して学ぶ、当団体が開発した教育プログラムです。毎月学校現場での最新の教育・授業実施事例をお届けしています。

特集：学校でのアクション実施例：小学校編 VOL.3

校長先生インタビュー『子どもの社会参画の基礎を育む活動』

東京都世田谷区立烏山小学校 | 2020年4月～2021年3月



学校・先生情報 ※情報はインタビュー実施当時の情報です。

お名前：坂本 正彦（さかもと まさひこ）先生
ご所属：世田谷区立烏山小学校前校長・現白百合女子大学教授
対象学年・教科：5,6年生 総合的な学習

【主な学習の流れ】

1学期：SDGsの各ゴールについての調べ学習

2学期：1学期のまとめ発表

自分たちにできることを考える・計画づくり・実行
アクション振り返り・発表

☆FTCJスタッフによる授業：2回

インタビュー項目

- ・フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに授業依頼をしようと思った理由・きっかけ
- ・授業前後・内容についての感想
 - ▼依頼や導入前の相談から授業準備のやりとり
 - ▼授業内容
 - ▼授業後のフォローアップ
- ・子どもの様子・変化・学びなど
- ・難しかったこと、課題
- ・今後の取組を検討している他の学校・先生方へのメッセージ

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに授業依頼をしようと思った理由・きっかけ

世田谷区の校長会で、「フリー・ザ・チルドレン・ジャパン」の話があり、社会科の6年生の国際理解の単元や本校の5年生の総合的な学習の時間の国際理解のテーマで、活用できると思ったからです。学校の近くの地元地域の団体だったので、さらに活用できると思いました。

▼依頼や導入前の相談から授業準備のやりとり

授業前後・内容についての感想

校長会のあと、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの事務所でお話し、団体の活動内容や活動に対する熱い想いを強く感じました。その想いに触れ、特に、子どもたちに、**これからのグローバル社会への対応や社会参画意識を高めていくのに、「フリー・ザ・チルドレン・ジャパン」と連携してやっていくことが、子どもたちのため、地元の烏山地区のためになる**と思いました。

2020年度の4月に、5、6年生の学級担任と一緒に「フリー・ザ・チルドレン・ジャパン」の活動内容と、本校の総合的な学習の時間で活用できないかを話しました。その後、5月末にフリー・ザ・チルドレン・ジャパンの方を招いて、活動内容について5、6年生の担任に向けて話をしてもらいました。話を聞いて、5、6年生の担任は授業に活用できると考え、どのように教材構成をするか、それぞれ学年ごとに連絡を取りながら進めていきました。5年生は国際理解、6年生は環境問題について、指導計画を作り、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの方に協力してもらいながら授業を作っていました。コロナ禍で心配なこともありましたが、子どもの教育のため、アイデアを出し合い、互いのニーズが一致したからこそ実施できたのではないかと思います。

▼授業内容

子どもたちがアクションを起こすという内容がよかったです。アクションを起こす意義や方法について具体的に教えていただきました。それをもとに子どもたちは、校内の児童や保護者に募金を呼び掛ける、ポスター、校内放送等で伝える、議員に手紙を書いてきてもらう、新聞社に働きかけ取材を受けるなど行いました。その姿を見ると、子どもたちは生き生きとして、行動に起こせば世の中を変えられることができるという思いをもったようでした。

これらは、**子どもの社会参画の機会になり、よりよい社会づくりを目指す社会科や、特別活動や学級経営にとって大切な「人間関係形成・社会参画・自己実現」の育成につながる活動だ**と思いました。社会問題について学び、よりよい社会にするために自分たちに何ができるか考え、その過程でクラスの仲間と協力して準備を進めていく。これらの活動は、子どもたちの自信につながり、一人一人の子の目指したい自分を見つけるきっかけにもなったと思います。



2ページ目へ続く→

特集：学校でのアクション実施例：小学校編 VOL.3

担任の先生のインタビュー『子どもの社会参画の基礎を育む活動』つづき

▼授業後のフォローアップ

担任の先生方はわからないことが聞けたり、授業の内容構成に対するアドバイスをいただいたりしたようでした。

子どもの様子・変化・学びなど

子どもが楽しみながら活動していたことが何よりよかったです。5年生は、区議会議員さんに手紙を書いたら学校に来てもらいました。6年生は、東京新聞にも手紙を書いたら取材に来てくれました。子どもも先生も驚きつつ、ワクワクしながら取り組んでいました。また、6年生は、学校のすぐ近くの川（仙川）を教材に環境について学習していたのですが、2学期に始めた川の柵の掃除やごみ拾いを学習が終わった2月になっても続けていました。寒い中で活動のはずなのに「楽しい」「地域の人に声をかけられるとうれしい」と言っていました。

そんな様子を4年生の子どもたちが見て、地域の人々が横断歩道でない場所を横断しているのを、横断歩道を渡るように地域の人に呼び掛ける看板を作ることを行ったのは、うれしいことでした。

先生方も、そんな子どもたちの姿を見て、やる気が上がっていききました。始める前は不安が多かったようですが、やり始めてみると、子どもが主体的に取り組み、変容していくのを目の当たりにして、先生方もどんどんモチベーションが上がっていききました。地域への社会貢献になっていると感じ、有意義な活動ができたと言っていました。

難しかったこと、課題

新しいことを始めるということは見通しが持ちにくく、中々気が進まないものです。先生方も忙しい中で、なかなか進んで新しいことをやるというのは大変なものです。また、一人の先生がやりたいと思っても、実施に至らないこともあります。

そこで、先生方がやりやすいように、意欲をもって取り組めるように、方向性が見出せるように、管理職（校長、副校長）が環境設定を整えること、先生方がやりたいようにできるように支援するなどのリーダーシップが必要になると思います。子どものよりよい成長のために、よいと思ったものは積極的に取り入れ、学校全体で協働的に取り組んでいくことが大切だと思います。そして、それが特色ある学校づくりにつながっていくと思います。



今後の取組を検討している他の学校・先生方へのメッセージ

現在の学校は、地域を巻き込んだ地域と連携した教育活動が求められています。また、これからのグローバル社会、少子高齢化の社会に向けて、子どもたちには、社会貢献や社会参画の基礎を育てていく必要があります。

「フリー・ザ・チルドレン・ジャパン」は、学校の要望に応じて子どもたちが社会に行動を起こしていくためのノウハウやその活動を支援してくれるNPO法人です。先生方の授業づくりにとっても役に立つと思います。地域の活性化にもつながっていくことでしょう。

お知らせ

FTCチェンジメーカー教育プログラム 体験会開催！

日時：7月29日（金）13:00～16:00

会場：烏山区民センター（仮）

「FTCチェンジメーカー教育プログラムに登録したけど、いまいちイメージが湧いていない…
Webページにあるワークショップを一度やってみよう！」

そんな教育関係者の皆さま向けに、FTCチェンジメーカー教育プログラムの流れの説明や、ワークショップを実際に体験することができる機会をご用意いたしました！

【体験ワークショップ例（予定）】
セーフスペース（Step0説明）
ワールドマップ（Step1説明）
ブロックゲーム
児童労働シュミレーション
チームビルディング（Step2説明）
アクションプランニング etc…

申し込み方法など、
詳細については改めて6月にご連絡いたしますので、
もうしばらくお待ちください！